

釧路西ロータリークラブ会報

会長方針 「ロータリーを知って、いつも笑顔で会おう!!」

本年度 第18回(通算第2407回)

プログラム「クラブフォーラム」夜間例会

担当 会長エレクト

■2024年3月11日(月) 18時30分～ ■例会場:ANAクラウンプラザホテル釧路

【会長】金田 剛 【副会長】高田 智弘 【幹事】岡安 正人 【副幹事】小栗 直也・平 信二

★ 点鐘 金田 剛 会長

★ ロータリーソング
「我等の生業」



ソングリーダー
杉野 史和 君

★ 会長挨拶 金田 剛 会長



皆さんこんばんは。まず家庭集会お疲れ様でした。金、土、日と東京に行っておりまして目的としてはセミナーを受けて来ました。営業をですね、十何年前、営業だったんですけど、都会の感じとか感触を忘れないようにセミナーを受けて来ましたが、その中で東京は凄いなと、浜松町に泊ったんですよ、で、金曜日だと店が全然あいてなくて、大したうまくないのに混んでるんですよ。まあ外的要因が凄いなと、釧路と全く違うなと。これはもう正直、昔から思っていたんですが、この流れは止められないなと、釧路は縮小するなと、どんなに頑張っても拡大は出来ないんで、肌で感じて来ましたね。それで、そうなってくるとどうしたって北海道は日本だけ外国なんで、向こうの本州のお金を持ってくるか、こっちが向こうに行くしかないと思うんですけど、それをひしひしと感じて、セミナーも受けて交流もしてきました。ただ女性の後輩とも飲んだんですけど、AIG という保険会社に行っていて事務をやっている、年収は580万円で家賃が10万円だと、何でそんな所にいるんだと聞くと、やっぱり楽しいと、色んなものがあるからと、釧路に行っても仕事はないし、こういう所が正直な所かなと思って感じて来ました。なので、すべて釧路は縮小していくという事で、それに対応する何かを考えなくちゃいけないと思うんですよ。それを西クラブもそう思っていて拡大することはないので、縮小した上で機能していくと、無くさないようにというのを皆で考えていく時期なのかなと思うのを感じて来ました。その上で今日は家庭集会の話で、次年度の例会をどうしようという話をしていこうと思いますけれ

ど、非常にセミナーを受けてきて、最近は怠けてきたと肌で感じてきたので、また営業の気持ちに戻って頑張っていきたいと思えます。

第1班 報告者 平 信二君

3月7日(木) 会場:さかまる
参加者 金田 杉野 大場 加納 平 請川

★ 幹事報告 岡安 正人 幹事



- ・ RI認証「ロータリー囲碁同好会」より第22回RI台湾囲碁大会のご案内が届いております。
- ・ ガバナー事務所より「ロータリー平和フェロシップ候補者募集のお知らせ」が届いております。

★ 委員会報告

★ 本日のプログラム

「クラブフォーラム」夜間例会

担当 会長エレクト

家庭集会テーマ

次年度に実施してみたい例会、活動などについて



結構出まして、実現するかどうかというのはあとの話なので、出た話をしたいと思います。普通例会、クラブフォーラム等で開催出来るものとして、防災に関する事ですね。1.1に能登の大震災があり、3.11から13年経ちましたが、防災に関する事を講師を招いてやってみてはどうかということが上がりました。

小中高校、大学も含めて習う時は習うんでしょうけれど、経済に関する事、証券会社、株、金融という事で、講師を呼んで、例えば経済学の先生だとか、証券会社をお呼びしてお話して頂くのも勉強という意味ではいいのではないかという話が出ました。

あと、政治史、歴史として色々なものを学んで行ければ、また考えが色々変わってくるだとか、こういう見方があるんだとかを学べるのではないだろうかという意見が出ました。例えば加納会員がおっしゃられたのですが、所得倍増計画など、何故ああいう事が起こったのか、後ろの背景を知れば、また考え方が変わるのではないか、ということもおっしゃっていました。あと、職業奉仕ですね。自分の仕事に対する倫理観、加納会員が倫理観という言い方をされていたのですが、外からどういうふうに見られているのかというのを皆さんが、私の場合だとパソコン屋さんです、じゃ、何をしているんですか？と言われてもパソコンの修理ですですと終わってしまうのですが、例えばネットワークの構築だったり Bluetooth の設定だったり、多岐には渡るんですけども、じゃ、そのほかに何をしているんですか？という所を紐といて自分を見つめなおす、そういうのを含めてやっていくのはいかがですかという話も出ました。あと、

釧路が馬産地ということで、馬の歴史はどうかという話も出ました。当クラブに生産者さんがいらっしゃいますが、馬の元々の役割、仕事ですか、人間と馬との関係の成り立ち、血統や道産子がどうして北海道にしかないのかとかを含め、どなたかから話をして頂くのはどうかということが出ました。

あと青少年育成事業として開催出来そうなものが、小学生絵画コンクール、これは金田年度最初の方の理事会でも出たんですけども、今年度、実現出来なかったんで、そのへんをやるという事であれば教育委員会や市の方も絡んでくるので、出来れば早い時期に実行委員会を立ち上げて計画していくのがよろしいかという事でございます。あと、もう一つスポーツ系は当クラブはバレーと柔道をやっているんで良いと思うのですが、文科系ですね、小学生の将棋とか囲碁の大会に協賛するというような話が出ました。囲碁は釧路は結構、強い子が多いと、主催をして釧路西ロータリークラブ会長杯となるかわからないですけども、そういう形で大会を開催するという事が出ました。

先ほど出ました、政治経済の話をいわゆる公開講座として、これは中高生向けあたりになるかも知れませんが、まなぼっとの大ホール、多目的ホールなどを借りて外部講師を呼んで公開講座のような形で開催してみたいかという話も出ました。

ひとつ野遊会、家族例会に関しての話も出まして、北広島にあるエスコンフィールド北海道に行ってみてはどうでしょうという話が出ました。あと親睦活動としていつもやっているのですがゴルフをやっていくのがいいと、あと、麻雀ですね。そのへんは親睦活動としてやって行きたいですし、あと、バイク乗られる方が結構多いのでバイクというのもいいと思います。冬は冬で何かやってみたいですが、冬のスポーツって何かケガをしそうなのであまり意見は出なかったですけど、スノボ、スキーをやってもいいかなと思います。そして最終的に、広報活動として新聞、広告等で積極的に発信していく形をとれば少しロータリーに興味を持ってくれる人が増えるのかも知れないし、という話でございました。それとですね、別個でこれはクラブの全体のものに関わることなんですけど、例会に関してゆるゆるな所もあるし、やっているところはちゃんとやっているという話になったんですけども、金田会長が厳しくやるかい？ という話をされたんです。で、1回、そういう厳しくやった上で、表現悪いですけども手を抜ける所は手を抜きゆるくやる、基本がわかっていないと何をしたいのかわからないというのがまず、せ

っかくお金を払って例会に来て、じゃ、ゆるゆるやって、また来週ねとするよりは、やっぱりしっかりやった上で今後、西ロータリーに入ってきた人達が、こういう活動してるんだとか、ちゃんと見てもらえるような会にしていけるのが、またあるべき姿なのではないかという話が出ておりました。まあ、僕が今まで8年やってきた中で、そのへんがなあなあになってきている所が、今年も本当はやらなければならない事があるのですけれども、会報委員会、広報とか、会報委員会でロータリーの友を紹介するという事も活動計画書には委員長が書いたのにやっていないとか、細かい委員会でそういう事をやったりやっていなかったりというのがあったりするので、その辺もう少し、やる所はしっかりやっていくのがいいのかなという所ですね。そもそも例会運営委員会とかあるので、そういう所と会場監督が連携して方策を練るだとか、例会の出席率もそうですし、そのへんは感じている所です。活動計画書に書いた活動方針をしっかりとこなしていくというのが理事の役目というか、引き受けてやると言った以上、ある程度やっていく形をとっていかないと会としては崩れていくのかなとは思っておりますので、皆さん少し出来ることはやって出来ないことは、また皆で話し合っ進めていければと思います。家庭集会第1班の報告は以上です。

第2班 報告者 佐藤 圭君

3月8日(金) 会場:居酒屋 武蔵
参加者 小栗、菊地、佐々木、谷口、張江
佐藤圭



第2班は4つ話が出ました。まず、目に見える奉仕、寄付をしようということで、例えば子供食堂

であるとか、そういった活動に寄付を行おうという話が出ました。もう1つそれに関連することで、これまでもあったという話でしたが、鶴野支援学校ですとかを訪問して何か出来ることを探っていくとか、そういう話が出ました。あとは海外例会という話が出ました。これは海外に、これは私も積立金とか詳しい話を知っているわけではないですが、皆が元気なうちに今まで積み立てたお金で海外へ行く、海外となると近くのアジアの国なのかなという話が出ました。あとは1班で出た話とかなりリンクするかなと思いますが、スポーツ以外の青少年の活動で最近はどうやらeスポーツの部活とかもあるようなので、西ロータリー主催のeスポーツ大会だとかそういうのをやるのも、今までスポットライトがあたりなかった子供たちにそういう場を提供できるかなという話題が出ました。以上4つご報告させていただきます。

岡安 正人君



家庭集会、都合が悪くて欠席したんですけど私が思うやりたいという事は、皆で札幌とかどこでもいいので皆で行って、海外というのも先ほど言っていたんですけど、ゴルフでもいいし、競馬に行き

たい人は競馬でも、皆で集まって懇親会でもいいし、そういった事も企画してもらえたらきっと楽しいだろうなと思います。やっぱり楽しいことがあると出席しようかなと思う人も増えてくるんじゃないかなと思います。やはり、あまり固いことばかりだと楽しくなくて出席しないのかなと思います。先ほど平さんがおっしゃったように、もう少しロータリーのあるべき本来の姿というのをきちっとやるというのも私もそう思いますし、厳しくするとかそうことではなくて、私も入会して5年になりますが、はっきり言ってロータリーのことってそんなにわからないんで、そういったこともわかった上で、5年といってもコロナもありましたので、行事とかも少なかったのもありますし、そういった事の勉強、家庭集会みたいなものをして、その中でやって学んでいくというのも大事だと思うし、あまりだらだらやるのも本当

にクラブがダメになっていくような気がするんで、そういった事も大事なのかなと思います。

小栗 会長エレクト

私も2班に参加していたんですが、張江会員と谷口会員からも海外へという話で、生きているうちにやってくれよという事なので、ちょっと何か考えて実行したいなと思います。

金田 剛 会長



次年度、次年度以降やりたいことという話を聞きました。僕はどこかに行くとか何とかっていうやっぱり遊びの部分と、よく話すんですけどロータリーは職業奉仕だというのがあるので、僕、それを感じます。国際奉仕とかっていうのは正直な所ピンとこないじゃないですか。もっと例会の中でも以外と仕事を知っていても自らの仕事を紹介するとか、こういうふうになっているのを踏まえた上だったら、職業奉仕、じゃ一緒に何かやろうかなというような連携がとれると思うんですよね。そっちの方も遊びと職業奉仕といった形で次年度以降やれば、恐らく西クラブ、結構好きなことをやっているんで、西クラブダメだなと言われない為には、目に見えて職業奉仕というのをやって行けばいいのではないかなと感じました。

★ 点鐘

金田 剛 会長